

おうちcafe

三重短期大学附属図書館



こ ん な 本



読 ん で み て

February – March 2019

No. 75





目次

MIETAN 本つなぎ 第5回	1
おうちcafe	5
Book design の世界 vol.5	10
ちょこちょこ日記 #15	12



三重短生のおすすめ本をリレーして
三重短を本でつなげたい！



今回の本つなぎメンバーは
こちらの2人★



図書館ボランティア部キャラクター
ライブラリアン

なかさん
法経科第2部
1年

ゆめさん
法律コース
2年

－「MIETAN本つなぎ」第5回は、前回の ゆいこさんとととさまさん からのご紹介で、ゆめさんとなかさんです。よろしくお願いします。お二人は2年生と1年生ですが、何つながりですか？

ゆめ 部活つながりです。将棋囲碁部です。

－昨年の図書館コラボでは大変お世話になりました。将棋と囲碁の体験イベントをしていただきました。とても楽しいイベントをありがとうございました。

ゆめ・なか ありがとうございました。

－それでは、ゆめさんからおすすめの本の紹介をお願いします。

ゆめ わたしのおすすめは『ヘタリア Axis Powers』（日丸屋秀和著／幻冬舎コミックス）という本です。世界の国を擬人化したマンガです。高校の時に、世界史が好きだったので友達がすすめてくれました。各国の文化や国際関係がひそんでたりして、世界史や国際関係論の勉強にも使えますね。絵なのでわかりやすく覚えられますし、時々ふざけてます。(笑)



－好きなキャラクターはいますか？

ゆめ イタリアちゃんです。イタリアは兄弟になっているんですが、北イタリアを擬人化したキャラクターです。陽気でちょっとドジっこでかわいいです。食べるのが大好きで、頭の中がパスタのことでいっぱい、よく「パスタ！」って言っています。(笑)

ゆめ 次に紹介するのは、『あるある吹ペディア』(オザワ部長著/学研プラス)です。吹奏楽のあるあるを集めた事典です。私は中学校から吹奏楽部で、今は三重大大学の吹奏楽団に入っています。三重短には意外と吹奏楽部の出身者が多いのでわかる人も多いでしょう。

ー今も続けているんですね。この本で気に入っているところはありますか？

ゆめ 「黒い」って言葉です。「楽譜が黒い」という表現をします。細かい音符でまっくらになってるってことです。見たくないです。難しいです。「その曲黒い」というと「闇があるの?」って思われがちですが、見た目がまっくらなんです。(笑)

なか 小学校の時ピアノやってたので、何となくわかる。(笑)

ー続いて、なかさんのおすすめの本を紹介してください。



なか 『変身』(カフカ著/池内紀訳/白水社)です。これは曲から知った感じです。「始発とカフカ」(ナブナ作詞・作曲・編曲)っていうボーカロイドの曲がありまして、目が覚めたら毒虫になってたっていう曲の初めが印象的でした。文学の講義で取り上げられたこともあって全部読んじゃいました。

ー実際に読んでみてどうでしたか？

なか 曲のイメージとは全然違いましたね。本の方が重いと言いますか。

ー印象に残ったところはありますか？

なか 初めのところが印象に残っています。主人公のグレーゴル・ザムザくんが、セールスマンの仕事をしていて、毎朝早く起きて仕事に行ってるんですけど。本心では、両親のためにセールスマンをしているけど本当はこんな仕事なんかやりたくないと思っていて。やりたくない仕事を無理矢理やらされているような印象を持ちましたね。この『変身』には解釈がいっぱいあるので、ぜひ一回読んで自分なりの解釈を考えてみるのもいいと思います。

ー一曲から出会うこともあるんですね。ボーカロイドの曲をよく聞きますか？

なか そうですね。もともとボーカロイドをよく聞いていて、有名な作者さんの新曲が出たというのを聞いてこの曲を発見しました。

ー続いては、3つの質問です。①今はまっていること、教えてください。

ゆめ スマホのアプリを使って絵を描くことです。

ーアプリで絵が描けるんですね！作品を見せてもらってもいいですか？



ゆめ こんな感じです。友達の誕生日に絵を描きました。アプリで描く時は、紙で下描きしたものを写真に撮って読み込むと早いです。

ーすごい！かわいいくてきれいなイラストですね。

ゆめ イラスト部にも入っていて、部誌に載せたものです。私は人を描くことが多いです。幼稚園くらいからよく描いています。



ーなかさんのはまっていることは何ですか？



なか 私も絵を描くことです。私はアナログ派で、紙に描きます。スマホで何回か描いたことがあるけど操作がむずかしくて。作品として完成させたいというよりは、色も付けずに普通に楽に描いています。

ー何を描くことが多いですか？作品を見せてください。

なか わたしもよく人を描いています。小学校の時から友達に教わって、会えなくなってからは独学です。こんな感じで描いています。

ーやっぱり絵が上手な人は、髪型やポーズが違いますね。すごい！

次はゆいこさんからの質問です。②好きな座り方を教えてください☆



ゆめ かかとか床にしっかりつくくらい浅く座ります。吹奏楽の時、こうすると背筋が伸びてきれいにみえます。便利なところはすぐ立てます。

なか 私は片足を組んでよく座っていますね。ずっとぴしっと座っていると疲れてしまうので。

ーゆめさんは足は組まないですか？

ゆめ 組みます。電車とか乗るとよく組みます。

—ととさまからの質問です。③いつか行ってみたい国や場所はどこですか？

ゆめ 私はイタリアです。理由はごはんがおいしそうだからです。ピザが食べたいです。あとティラミスやジェラートなど本場のスイーツが食べたいです。

なか 私が一番行きたいところは北海道です。高校の時の修学旅行で行って、いろんなラーメンを食べて満足してたんですけど。もう一回行って、いろんなところを回って、いろんなごはんを食べたいです。

—まず食べたいのはラーメンですか？

なか ラーメン食べたいです。おすすめは野菜みそラーメン！一番食べたいです！それからパリにも行ってみたいです。パンを食べたい！

ゆめ 私はスイーツ食べたい！本場のマカロン、どんなのだろう♪

—今日は楽しいお話をありがとうございました。いつかヨーロッパや北海道へ行けますように☆

ゆめ・なか 行きたいです！ありがとうございました。

MIETAN

今回の **本つながり**

●ゆめさん●

『ヘタリア Axis Powers』(日丸屋秀和著/幻冬舎コミックス)

すい

『あるある吹ペディア』(オザワ部長著/学研プラス)

●なかさん●

『カフカ小説全集4 変身 ほか』(カフカ著/池内紀 訳/白水社)

(三重短図書館にあります↑)

5



次の2人へ
本つながり。
次回もお楽しみに♪

4



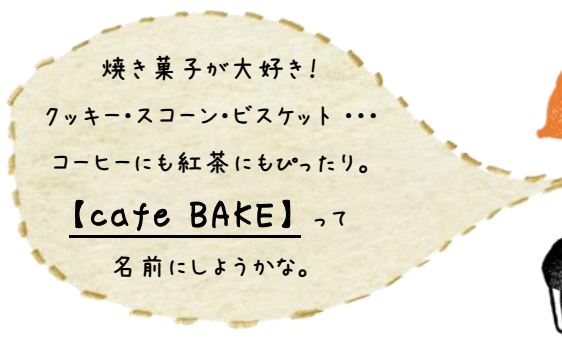
あなたがおうちcafeするとしたら
どんなカフェにしたいですか？
名前は何にしましょう？
考えるだけで楽しくなってきます。
おうちcafe、はじめます。

おうち
cafe 🏠

5



カフェの本を読めるカフェがいい!
 カフェの名前は
【Cafe de IDEA】です。
 すてきなカフェのアイデアがたくさん♪



焼き菓子が大好き!
 クッキー・スコーン・ビスケット・・・
 コーヒーにも紅茶にもぴったり。
【cafe BAKE】って
 名前にしようかな。



『好きよ、喫茶店』

菊池亜希子 著
 &Premium編集部編
 マガジンハウス

喫茶店にある幸せを伝える一冊。



『カフェノナマエ』

川口葉子 著
 キノブックス

すてきなカフェの名前の由来、とても気になる。



『奈良「くるみの木」のレシピ』

石村由起子 著
 角川SSコミュニケーションズ

カフェのていねいまごころが伝わる。



『いがらしろみのレシピノート』

いがらしろみ 著
 NHK出版

毎日のおやつと特別なおやつ。手作りの楽しさを実感できる。



『作り続けたいクッキーの本』

新田あゆ子 著
 マイナビ出版

どれにしようかなと、いろんな形のクッキーに心が躍る。



『スコーンとビスケットの本』

若山隼子 著
 主婦と生活社

シンプルな材料・作り方のスコーン。実は色んな食感が楽しめる。



『しあわせのパン』

三島有紀子 著
 ポプラ社

静かな町にあるパンカフェ「マーニ」。人々を優しく迎えてくれる。



『海岸通りポストカードカフェ』

吉野万理子 著
 双葉社

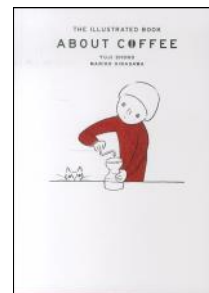
ポストカードが壁一面に貼られた喫茶店の物語。



『風のベーコンサンド 高原カフェ日誌』

柴田よしき 著
 文藝春秋

美しい高原のカフェ。おいしいような料理が続々登場。



『コーヒーの絵本』

庄野雄治 作
 平澤まりこ 絵
 mille books

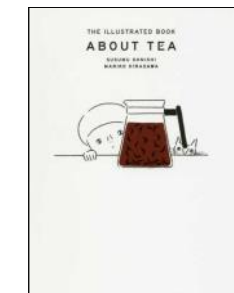
コーヒーをていねいに淹れてみる。幸せな香りが広がる。



『CHOCOLATE BAKE』

ムラヨシマサユキ 著
 主婦と生活社

板チョコで手軽に作れるレシピ。チョコレート好きにはたまらない一冊。



『紅茶の絵本』

大西進作 著
 平澤まりこ 絵
 mille books

紅茶の茶葉が泳ぐのを眺めてる。待つ時間も楽しいもの。



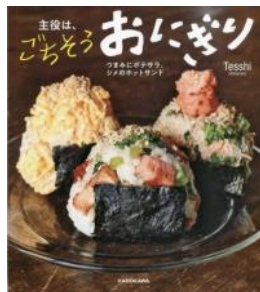
おにぎりがおいしいカフェがいいな。
【まるとさんかく】
 おにぎりの形が選べます☆



『お米やま家の
まんぷくごはん』

山崎宏, 山崎瑞弥 著
主婦と生活社

お米農家さんのお米レシピ!
塩むすび! 変わり種のもてなしむすび! おいしそう!



『主役は、
ごちそうおにぎり』

Tesshi 著
KADOKAWA

インパクト大のおにぎり。
たしかにこれのごちそう!



『かもめ食堂』

群ようこ 著
幻冬舎

ヘルシンキの街角にある
かもめ食堂。看板メニュー
は心のこもったおにぎり。

私の部屋は畳だから、
和テイストの落ち着いたカフェにしたい。
その名も **【NAGOMU CAFE】** です。



『きょうも
和菓子びより』

松井ミチル 著
主婦の友社

季節を彩る和菓子が、
うちで作れるなんて!



『たのしい
あんこの本』

なかしましほ 著
主婦と生活社

自分で炊いたあんこって
いい♪

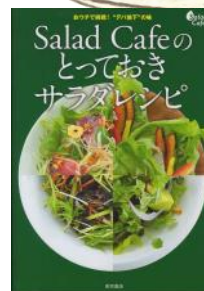


『日日是好日』

森下典子 著
新潮社

どんな時もそばに「お茶」が
あった。

カラフルな野菜やフルーツを
見ても食べても楽しめるカフェがいい。
【カラフルカフェ】 に決めた!



『Salad Cafeのとおき
サラダレシピ』

東京書店

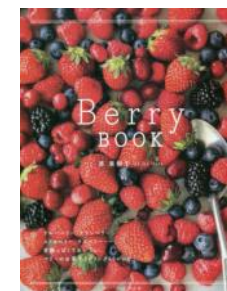
サラダにもプロの技! 楽しく
おいしく野菜を食べよう。



『りんごのお菓子』

若山曜子 著
地球丸

身近なフルーツがお菓子に
変身! リンゴの新たな一面
を発見!



『Berry BOOK』

原亜樹子 著
パルコエンタテインメント事業部

かわいくておいしくて美容
にも◎なベリーがたっぷり。

部屋の窓から星がきれいに見えるのが
一番のおすすめ。スープを飲みながらどうぞ。

『流れ星のスープ』



『スープ・ポタージュ・
チャウダーの本』

星野奈々子 著
柘出版社

素材のうまみがまった
スープのレパートリーが増や
せる。



『帰り遅いけどこんな
スープなら作れそう』

有賀薫 著
文響社

シンプルな材料で、短時
間のできるスープ、早速作
りたい。



『すごい夜空の
見つけかた』

林完次 写真・文
草思社

夜空を見上げるのが、ぐっ
と楽しく感じる一冊。

今日のおうちcafeはこれでおしまい。
おうちcafeの夢はまだまだ続く。。。

Book design

の世界

vol. 5

吉田 篤弘さん 吉田 浩美さん
(クラフト・エヴィング商會)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本の外装をデザインする仕事を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第5回目は、吉田篤弘さんと吉田浩美さん(クラフト・エヴィング商會)です。

クラフト・エヴィング商會は、吉田篤弘さんと吉田浩美さんによるユニット名です。著作の執筆と装幀を中心としたデザイン・ワークを主として活動されています。2001年には、講談社出版文化賞ブックデザイン賞を受賞。主な著作に『クラウド・コレクター / 雲をつかむような話』『らくだこぶ書房21世紀古書目録』『ないもの、あります』などのほか、それぞれの名義での著作もあります。

まずはそれぞれの著作から紹介します。

『**という、はなし**』(吉田篤弘文/フジモトマサル絵/筑摩書房/2006年/913.6||Y 86)です。読書の風景を描いたイラストから紡いだ物語。伝統色のような色あい、少しにじんで見える文字から温かみが感じられる装幀です。



装画：フジモトマサル

続いて『**A piece of cake**』(吉田浩美著/筑摩書房/2002年/914.6||Y 86)です。1冊の本の中に手製本の小さな12冊の本がおさめられています。同じように見えて少しずつ違うアルファベットの「a」が淡いグレーの中に浮かんでいる、シンプルでおしゃれな装幀です。



『**木暮荘物語**』(三浦しをん著/祥伝社/2010年/913.6||Mi 67)は、古いアパート 木暮荘を舞台にした物語。著者の三浦しをんさんは「お二人に装幀していただいた拙著は、うっすらと明るい夜の色をしています。さびしさのなかに甘みとユーモラスな感じが漂っていて、私がぼんやりと想像していた「夜」そのものでした。」と書かれています。まさに絶妙な夜の色をした装幀です。



ちくまプリマー新書の装幀も創刊から手がけられています。『**先生はえらい**』(内田樹著/筑摩書房/2005年/370||U 14)は創刊時の一冊です。篤弘さんは「一律になりがちな新書のカバーを一点一点違うものにしたのは、この新書のコンセプトが「子供たちへ」だったからです。毎月贈り物の小箱とリボンをつくるつもりでデザインしています。」と書かれています。今までに刊行された300冊以上で一冊ずつ違った「小箱」と「リボン」を楽しむことができます。




篤弘さんが「自分たちらしい装幀はどれですかと訊かれたら、このシリーズです、とお答えしています。」という、幸田文の随筆を再編したシリーズの一冊『**幸田文 台所帖**』(幸田文著/青木玉編/平凡社/2009年/914.6||Ko 16)です。シリーズの全てが美しく、手仕事で丁寧に作られたような懐かしさと上品さを感じられる装幀です。



「一貫して試みてきたのは、「物語の扉」を提示することだったと気づきました。物語を丸々ではなく、物語に通じている扉——装幀もそのひとつですが——を、様々なところに見つけ出す係を(中略)勝手に請け負って、この店を営んできたのだと思います。」と篤弘さんが書かれています。クラフト・エヴィング商會の吉田篤弘さんと吉田浩美さんが見せてくれる装幀という「物語の扉」はどれも味わい深いものばかりでした。これからの新しい「扉」も楽しみです。

引用文献：『星を賣る店』(クラフト・エヴィング商會著/平凡社/2014年)



ちょこちょこ日記 #15 「おうちcafeのつづき」

私が、おうちcafeをするとしたら、どんなカフェにしようかな。

まずは、写真カフェ。お気に入りの写真を部屋に飾ってみます。コーヒーを飲みながら写真を眺めて、思い出に浸ってみたり、ストーリーが見えてきたり。そんなカフェの名前は【喫茶 セピア】にします。

次は、雑貨カフェなんてどうでしょう。かわいいと思ってても、うまく飾れないでいる雑貨を、たくさん並べて。きっとすごく楽しい。おうちがかわいくなったら、甘いココアが似合うかも。カフェの名前は…、【c a f e k o m a g o m a】に決めました。

それから、シネマカフェもいいな。映画を見ながら、映画に登場する食べ物をいただく。映画『アメリ』のクレーム・ブリュレなんて最高！カフェの名前は、【F i l m】です。

いろんなおうちcafe、考えるのってとても楽しいです♪

自分のおうちcafe。友達や家族と一緒に。あなたもいかがですか？

こんな本読んでみて No.75

2019年2月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>